



ぶんと通信

第66号

2009年10月15日発行
 (財)伊賀市文化都市協会

比自岐コスモス祭り

伊賀市の南東部比自岐地区は、伊賀鉄道丸山駅から県道をはさみ、すばらしい景色の米どころ。たわなに実る稲穂を見ながら車で走ること約5分。そこで比自岐コスモスマつり実行委員が見守るコスモス祭りが開催されます。

最初は、水田のため雨が降るとぬかるみ、来られた方から苦情もあつたようですが、平成18年頃から旧育苗センター跡地を会場に小学校の校庭を駐車場として固定したことにより客も増え、今では三千〜四千人の人が足を運んで下さるようになりました。伊賀神戸の駅から城之越遺跡を見学し、柘川の旧家である町井家を訪ね、丸山駅から帰路に発つウォーキングコース。旅行雑誌に掲載された宣伝効果もあり、名古屋や大阪からの客層が増えているとのこと。

地元の旬の野菜即売会、おでんやうどんの販売、さつま芋掘り、伊賀米の販売、地元酒屋さんのふるまい酒など魅力いっぱい地元手作りのおまつりです。

比自岐音頭も有名で、しつかり練習し毎年舞台で披露してくれます。今年の新しい試みとして「かかしコンクール」が開かれました。

そしてこの地区にはもう一つ「笑みの市」という催しがあり(毎月一度、比自岐では第三日曜ゆめが丘では第一土曜)、友好地域の鳥羽市登志町からとれとれの魚の販売などで共催してもらい祭りを盛り上げてくれています。

コスモスと美味しいお米、野菜、お酒、そして海からの届け物：等、楽しいことがいっぱい！今年が終わりましたがまた来年是非足を運んでみてくださいね。(広報事業委員 松永啓子)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

キマグレン TOUR 2009
 KID IN THE SKY -EXTRA-



11/20金 好評発売中
 開場 18:30
 開演 19:00
 一般 4,500円 (全席指定)
 伊賀市文化会館

新世紀コンサート2009
 佐山絵美&佐山舞香
 ピアノデュオリサイタル



11/29日 好評発売中
 開場 13:30
 開演 14:00
 一般 1,000円 (全席自由)
 青山ホール

宝くじ文化公演
 グレン・ミラー
 オーケストラ



12/12土 好評発売中
 開場 13:30
 開演 14:00
 一般 2,500円 (全席指定)
 伊賀市文化会館

今井ゆうぞう はいだしょうこの
 ファンタジー・コンサート



12/13日 好評発売中
 ①開場 11:00
 開演 11:30
 ②開場 14:30
 開演 15:00
 一般 2,000円
 当日500円増 (全席指定)
 伊賀市文化会館

BUNTOクリスマスコンサート
 波多野みち子&上野合唱団コンサート
 「クリスマスの歌の玉手箱」



12/19土 10/18日発売
 開場 13:30
 開演 14:00
 一般 1,000円
 当日200円増 (全席自由)
 あやま文化センター

伊賀びと奏でコンサート
 大正琴で奏でる新春コンサート

1/24日 11/7日発売
 開場 13:00 開演 13:30
 一般 500円 (全席自由)
 ふるさと会館いが

東京混声合唱団
 青山ホール特別公演

3/6土 12/13日発売
 開場 13:30 開演 14:00
 一般 2,000円 (全席指定)
 青山ホール

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
 青山ホール

TEL.0595 (24) 7015
 TEL.0595 (52) 1109

ふるさと会館いが
 あやま文化センター

TEL.0595 (45) 9125
 TEL.0595 (43) 1125

〈源氏物語 9/21〉

白石加代子さん

古来「物語」は誰かが読んで、物を語り、それを聞いて楽しむものだったようです。1000年も前に書き綴られたこの源氏物語を私たちにもわかりやすく見事に観させてくれました。瀬戸内寂聴さんのチャージングで活気あふれる現代語訳と鴨下信一さんの訳文と原文そして解説を織り混ぜ、古典文学を噛み砕きわかりやすく構成した素晴らしい演出、そしてなにより「読みの達人」といわれる白石加代子さんの迫力ある名演技と朗読。息のびったり合った舞台上観客全員が言葉を失うくらい酔いしれました。

・確か14年前に「百物語」の公演で伊賀にお越し下さってますよね。

はいそうです。「百物語」のまだ最初の頃、来させていただきました。伊賀は幾重の山々を越えて来なければならぬ奥深い山里というイメージが私の中に先入観としてあったのですが、来てみて驚きました。気品あふれる街々のたたずまいはもとより、その時お世話していただいた実行委員会の若衆たちの澁刺とした姿に感動したことが強く印象に残っています。

東京の青年団にもみられない、知的で情熱的でおまけにおしゃれで素敵な方たちばかりでした。特に演物屋のMさん、印刷屋のIさんはまるで今回の源氏物語に登場する公達のようにでした。(ちょっとリップサービスしすぎ?) >^_^<

その時以来また伊賀に来られたらと望んでいましたがこうして実現できたことを本当に嬉しく思っています。

・瀬戸内寂聴さんからなにが要望がありましたか。

寂聴さんからは何もありません。白石さんの思うがままにやって下さいと言われました。寂聴さんはこの物語の中では柏木が一番好きで、命を賭してまで自分の想いを遂げようとした一途な心に魅かれると話しておられました。

・演出の鴨下さんは当協会の理事である北泉優子さんと旧知の仲だということですが、何か演技上の特別な要求がありましたか。

鴨下さんは寂聴さんの素敵な日本語訳と原文をミックスさ

せて、日本語の素晴らしさと耳にやさしく、わかりやすい源氏物語を完成させたと自負されていました。

・舞台一面の扇を駆使した演出と白石さんの一人芝居と言ってもいい見事な朗読演技に、観客が固唾を飲んで引き込まれていましたよ。

私の「語り手」という立場は物語を支配できるいわば全能の神のような存在で、私が自分の中で咀嚼したものをいわば押し売りのようにお伝えできるという喜びがあります。

伊賀のお客様はさすがに文化レベルの高い地域だけあって、源氏物語をよく読んでおられるようで、他の地域では感じられないほど、読み手の私に「はやく次を!」という風に喰い入る意識がピンピン伝わってきました。

前回叶えられなかったおいしい伊賀のお肉やお米を堪能させていただきましたし、旧知の皆さんとも再会させていただき本当に嬉しい限りです。ぜひまた機会があればお呼びいただければと思います。本当にありがとうございました。

いろんな役者さんを存じていますが、白石加代子さんほど品と格を兼ね備えた女優さんは他にはいないとあらためて感服した次第です。
(広報事業委員 池澤基善)



先取りのワキマ

〈新世紀コンサート〉

佐山絵美さん 佐山舞香さん

11月29日(日)青山ホールで新世紀コンサート2009 佐山絵美&佐山舞香 ピアノデュオリサイタルが開催されます。そこで、お2人にコンサートを前にお話を伺いました。

Q1: いつも、お2人で活動されているのですか? 地元・伊賀でのコンサートなどは初めてでしょうか?

A: 今までそれぞれが伊賀をはじめ、様々な場所でソロやアンサンブルでのコンサートに出演させていただきましたが、姉妹2人での活動は昨年始動させたばかりです。

Q2: ピアノの魅力について、分かりやすくお話いただけますか?

A: ピアノは、一台でオーケストラに出てくるすべての楽器を表現できるほどの広い音域を持っています。弾き次第で色々な音色を出すことが出来ますし、多くの可能性を秘めた楽器だと思います。

Q3: 演奏にあたって、気をかけている事とかありますか?

A: 楽譜には作曲者の意図や想いが詰まっているので、演奏するにあたり楽譜に書かれているメッセージを探る、感じる事がとても大切だと考えています。また、作曲者の人物像や国柄によっても楽曲の雰囲気や求められているものが違うので、そのためにも言語や文化など・・・感性を磨く勉強をする様に心がけています。

Q4: 今回のピアノデュオリサイタル、どんな内容になりますか?

A: 連弾や2台のピアノで演奏する他、打楽器とのアンサンブルなど様々な形態で演奏します。打楽器の演奏者、ヨハネス・フォン・ピュトラー、ゾンヒョ・イムのお2人は、(絵美さんの)ドイツの大学時代の友人で、今回のコンサートのためにスケジュールを調整して来日してくれます。「いつか日本でやりたいね」と話し合っていました、本当に実現する事が出来るととても嬉しく思っています。

Q5: 最後に抱負などをお願いします。

A: 昨年(絵美さんが)ドイツから帰国したことを機に、ようやく姉妹2人で活動が出来るようになり、音楽の楽しさに魅了されながら、姉妹で演奏出来る喜びを感じています。今後、ソロをはじめ姉妹でのデュオ活動にも積極的に取り組みたいですし、アンサンブルにも力を入れたいと思っています。

そして、今まで支えていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、微力ながら音楽の素晴らしさ、魅力を皆様にお届け出来ればと願っています。

(広報事業委員 下猶茂樹)





筆啓上 ふるさとへ

「千葉房州安房白浜にて」

陶芸家 富山善夫



私の生まれは伊賀柘植、両親は筋金入りの伊賀人、先祖代々の酒屋だったが不幸にも類焼に遭い、京都に転居したのが13歳の時だった。

そこで陶芸家の修行をして伊賀に戻ったのが29歳、42歳から3年間だけは南米のパラグアイでシニア海外ボランティアを経験して、ここ房州安房白浜に移ったのが2006年56歳だった。伊賀柘植は計37年間住んだ土地となった。

最近「房州何とか」と、旅番組で紹介されることが多いが、関西には馴染みのない所だろう。ここは本州では珍しい無霜地域で、冬に花が咲き、その季節の観光客が一番多い。地植でアロエが育つので驚かされる。

白浜は小規模な沿岸漁業のみで、伊勢海老と鮑、栄螺が主な産物だ。隣の冷凍設備のある大きな港では沖に出て烏賊や金目鯛も捕っている。

ご近所で最初に驚かされたのは、床の間のお軸だった。何処の家でも真ん中に天照大神、その左右に地元神社の神様のお軸が配置されている。そのせいかお土産に赤福を持っていくと異常に喜ばれる。

祭がとても盛んで、その時はカーニバル状態に街がなる。御輿を担ぐのが生き甲斐なので男は体を鍛えることに余念が無く、筋トレは常識となっている。これも昔の漁師は櫓を漕ぐのが当たり前で、強靱な人しか漁師になれなかった名残かと思われる。だから白浜町では腕相撲大会が毎年盛大に催されている。

伊賀より遅れて合併して南房総市となり、私には伊賀での経験をなぞるようなところがあり、「白浜の地域作りを考える会」のメンバーになったが、蓋を開けると私も含めて転入組が多いことが解った。

「伊賀と員弁の人は助が^{アハラ}一本多い」だったが、偶然にも「安房人は一本少ない」と此処で言われている。すると私は二本多いのかな。

夢ing

『楽しく 美しく 健やかに』

ミールイRGC 代表 中谷 佑嘉

伊賀市内の子どもに新体操の楽しさを伝えようと、新体操クラブ「ミールイRGC」を設立し、運動公園体育館・武道館を拠点に活動しています。新体操はオリンピック種目ですが、まだまだマイナースポーツです。先日、伊勢市のサンアリーナで「世界新体操選手権」が開催され、日本は団体種目別で4位入賞と健闘しました。新体操は一見優雅で美しいスポーツですが、その裏には計り知れない努力と練習があります。このような大きな大会が三重で開催されたことで、今新体操をしている子どもたちにとって、目標や夢を持つ良い機会となったことは間違いありません。

新体操は手具を持って踊ることから、コーディネーショントレーニングにつながり、近年低下傾向にある運動能力を高めるというメリットがあります。また、幼少期に柔軟性を高めることで、将来怪我の起こりにくい体づくりにもつながります。ミールイRGCでは新体操の楽しさを知るところから始まり、一般

→中級→育成→選手までコースを設け、目的別にレッスンしています。将来、伊賀市から日本や世界で活躍していけるような選手を発掘することを夢み、また子ども達それぞれの夢のお手伝いが出来たら幸せです。

お問い合わせ miruirgc@yahoo.co.jp



伊賀のええもん見つけた

榎は地方によってはヨノミとかヨノミノキと呼ばれる。ヨノミノキが巨木に成長して、緑陰を作り、人々はその下に集い、憩いの場となる。平田東部にそびえ立つヨノミノキは、樹皮は薄黒く、幹の周りが3m以上もある。神が降臨し、宿っているのではないかとさえ感じられる。「藤堂のお殿様が植えよと言われた木だ」と古老が伝えるこのヨノミノキは、人々が往来する街道の目印となった。平田の東のはずれで力強く枝を張る巨木は、人々の生活や文化の移り変わりを見つめてきたのであろうが、確かな樹齢は不詳だ。

このヨノミノキの隣には庚申様がお祭りされている。近くの七軒の家が代々にわたって祭祀を守り続けてきた。庚申信仰は、平安時代に中国から伝来し、室町時代を経て江戸時代になって、いよいよ民間信仰として浸透が著しくなったと言われている。庚申様は健康や長生きの神様、人間善導、人生の道案内として尊敬されてきた。村落社会の講組織と結びついて、仲間たちと共に庚申の日に集まり、徹夜で祭事を営む習俗として定着した。

シリーズ伊賀巨木めぐり 「平田の庚申様とヨノミノキ」

平田のヨノミノキは、庚申様の教えを表現するかのよう四方に太い幹をいっぱい広げ、貫禄ある樹形を見せて、ひたすら人々の幸せを願って立ち続けている。

(広報事業委員 西岡時彦)
(取材協力 福田孝良氏)



文化あれこれ春夏秋冬

陶芸作家であった私は、器を作らず陶の猫を作っている。10年も前、まだ愛知県にいたころ、家猫7匹、外猫3匹飼っていた。

今でも旅先で猫のいる界限にはいるとホッとする。断トツに見かけたのは長崎。階段上になった土地に家が建ち並ぶ。その狭い路地が猫にとって安心する居住空間なのだろう。

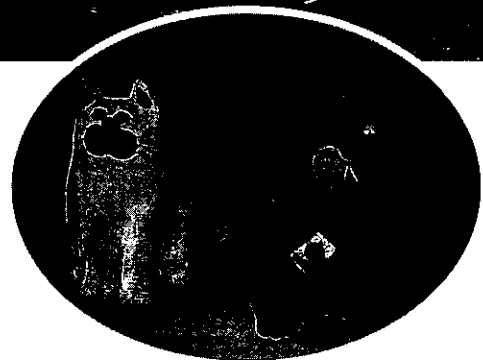
尾道もそうだ。猫がのんびり日向ぼっこをしている風景。忙しく働く現代にあって忘れていった風景がここ長崎、尾道にある。

私が伊賀上野にやってきたのは8年前。その頃から比べ、益々車の往来が激しくなった。市内を猛スピードで走り抜ければ、いくら素敵なお店などあっても目に入らない。

歩いて入るお店が軒並み続く。そんな路地があれば、猫たちも居心地が良いだろう。猫が闊歩する街になれば、観光客も溢れるかもしれない。猫が駅長さんとなり観光に一役買っているニュースをみてふと思う。

(造形作家 星 一平)

「猫と路地」



こだわり人生乾杯

「祭を支える黒子の一人として」

澤田 秀治

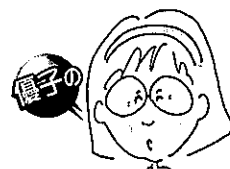
今年も、上野天神祭が近づいて来ました。祭に中町のだんじりの上へ乗せてもらって五年余りになります。巡行路の狭い所では、電柱など避けるために大工方と言って上で梶取りする仕来りがあり、万が一の応急修理が必要な場合も無いとは言えません。楽しくもあり、緊張もありというところでしょうか。

だんじりに関わるようになったのは、東町のだんじり倉庫の新築以来で、飛騨高山や輪島、京都などへ講習に出向き、技術者資格認定を受けました。東町・中町・魚町・小玉町・福居町などの解体修理をするうち、だんじり自体が揺れる構造になっていることに気付きました。その揺れを元に戻る状態にしなければならぬ難しい構造で、技術者は死ぬまで勉強やとつくづく思いました。



昔は町の人皆がこの仕組みを理解されていたので、今だんじりを生まれ変わらせた町の方々も、是非大切に扱って頂きたいと願っています。

四百年以上もの伝統ある祭も、一度途切れたら復活は容易ではありませんから、後を継ぐ若い方のやる気を切望しつつ今年も祭を楽しみにしています。(伊賀市上野桑町在住)



「祭りの日」

多情
多感

北泉 優子

No.26

今年も秋祭りの季節が来た。昨年一昨年も、巡行を見に行かず、ケーブルテレビの中継でお茶をにこした。その前の年はテレビも見ず、祭りの日さえ半分忘れて、終わってから「あ、お祭りやったんや」と改めて思ったくらいである。東京から戻った年は待ちかねて巡行を見に走ったが、幼い日のあのときめきはおぼえず、失望した気持ちで帰宅し、以来、あまり関心をもてなくなってしまうのだ。

祭りには鮮烈な思い出がある。子どもの頃でも、六十年余も前のことだが、まるで昨日のように心に残っている。

それが尾を曳いて、今の祭りの光景が色あせて感じられるのかもしれない。

幼い頃のことだから詳細は忘れてたが、祭りのシーズンになると、母は甘酒を作った。それも広口のかめ

一杯にである。

そして宵宮と二十四日、本祭りは、

太巻き寿しと、すき焼が定番だった。

小学三、四年くらいだったろうか。

祭り用の振袖を作ってもらった。あまり金持ちではなかったから、母が

苦労して工面してくれたのだろう。

どの資産家の娘にもおとらぬ高価

な、あてやかな代物だった。本祭り

の日、頭いっぱいの大きなリボンをつ

けてもらい、薄化粧もしてもらって、その着物を着た。現在は全ブス

連会長だが、子どものころはちよつ

と可愛かったので、着付してもら

うと、誰もがお人形さんみたいとほ

めてくれた。母も正装し、手を引か

れて、二人で巡行を見に行つた。本

町通りは、きちんと外出着をきた

人々であふれていた。道の両側には

屋台店が並び、アセチレンガスの匂

いが漂っていた。鬼行列からだんじ

りまで、そりやきらびやかで、子ど

も心にも深い感動をおぼえた。ひと

わたり見物したわたしと母は人ご

みをさけて、曲がり道をした。その

時だった。事故が起こったのは。後

から来た自転車わがわしに追突し

たのだ。まだ枯木のように細かった

当方はぶつとばされて転んだ。「だ

いじょうぶか！怪我しなかったか」

かけ寄った母が助けおこしてくれ

た。自転車スピードを出していな

かったため、幸いにも腕のかすり傷と足の軽い打撲ですんだ。

「こんな細い道、自転車で通るやなんて、危ないと考えへんかったんか。

謝ってから行きなはれ！」母の剣幕に驚いた高校生らしい少年は、「す

んません」と一礼して姿を消した。

底に鈴のついた真新しいこつぽ

りは鈴がちぎれ、振袖のすそは泥ま

みれ、片方の着物の袖口がほつれた。

傷よりもそれが哀しくて、わたしは

帰宅するまでしゃくりあげていた。

祭りの着物は、半天に仕立て直し、

袖口がすり切れるまで愛用してい

た。半天を羽織るたび、あの祭りの

日が浮かんだ。そして、荒い声を出

したことのない母が、本気で怒った

あの顔も……。

祭りの準備で、だんじり町や鬼町

の人達は、大変な御苦勞をされてい

るときく。少子高齢化で人手もなく、

金銭的にも負担が大きく、限界にき

ているとか……。でも、祭町の人々

はがんばっている。それなら、見物

させてもらおう側も、普段着ではなく、

少しおしゃれをし（祭を見にゆく）

という心構えで、出かけたらどうだ

ろうか。これは当方の反省もこめて

記すのだけれど、祭見物は正装、つ

まり外出着で！むりな注文かなあ。

(作家・市内在住)

平成21年度(下半期) 伊賀市文化都市協会ホール事業ラインナップ

11/20 文化会館
キマグレンTOUR2009
KID IN THE SKY-EXTRA-

開場 18:30
 開演 19:00

一般 4,500円
 会員 4,300円

好評発売中

11/29 青山ホール
新世紀コンサート2009
佐山絵美&佐山舞香
ピアノデュオリサイタル

開場 13:30
 開演 14:00

一般 1,000円
 会員 900円

好評発売中

12/12 文化会館
宝くじ文化公演
グレン・ミラーオーケストラ

開場 13:30
 開演 14:00

一般 2,500円
 会員 2,500円

好評発売中

12/13 文化会館
今井ゆうぞう はいだしょうこの
ファンタジー・コンサート

①開場 11:00 開演 11:30
 ②開場 14:30 開演 15:00

一般 2,000円
 会員 1,800円
 (当日一般会員共2,500円)

好評発売中

12/19 あやま文化センター
BUNTOクリスマスコンサート
波多野みち子 &
上野合唱団コンサート
「クリスマスの歌の玉手箱」

開場 13:30
 開演 14:00

一般 1,000円
 会員 900円
 (当日一般会員共1,200円)

10/18日発売

1/24 文化会館
伊賀びと奏でコンサート
「大正琴で奏でる
新春コンサート」

開場 13:00
 開演 13:30

一般 500円
 会員 450円

11/7日発売

1/24 青山ホール
第20回
青山推薦コンサート

開場 13:00(予定)
 開演 13:30(予定)

一般 1,000円
 会員 900円

発売日未定

3/6 青山ホール
東京混声合唱団
青山ホール特別公演

開場 13:30
 開演 14:00

一般 2,000円
 会員 1,800円

12/13日発売

3/7 文化会館
第10回 能楽鑑賞会

開場 13:30 開演 14:00 全席自由

一般 1,000円
 高校生以下 500円
 会員 900円
 小学生以下 450円

発売日未定

3/14 青山ホール
青山ホール子ども劇団
「うてかえりこんぼ」
第5回定期公演「僕たちの伝説の又一大陸」

開場 13:30
 開演 14:00

一般 700円
 小学生以下 500円

発売日未定

伊賀市文化会館 ●お笑い公演…詳細未定

ふるさと会館いが ●Full-Come-Live Vol.29(小ホール)…11/28(土)
 ●タッチ・ザ・スタインウェイ…11/22(日)、2/7(日)
 ●佐藤しのぶソプラノ・リサイタル…詳細未定

青山ホール ●タッチ・ザ・スタインウェイ…12/19(土)、2/11(木祝)

あやま文化センター ●タッチ・ザ・スタインウェイ…2/28(日)

生涯学習施設利活用事業
 ~美と健康の総合プロデュース~

YOGA de Night! 第3期 **参加者募集**

大好評につき、第3弾!
 健康、美容、整体、痩身、呼吸、精神力強化等いろいろな効果をあげる「ヨガパワー」心身共に健康で自立できる元気な体づくりにお役立てください。

【場所】 伊賀上野交流研修センター 伊賀市三田986番地の1

【日時】 第3期 水曜日 8回講座
 10月28日・11月4日・11日・18日・25日・12月2日・9日・16日
 開始 19:30~20:30

【対象】 高校生以上

【定員】 40名 ※先着順。定員になり次第締切。

【受講料】 4,000円(8回講座)
 ※初回に徴収します。
 ※納入いただいたお金は返金できません。

【講師】 日本総合ヨガ普及協会正指導師 堀川 郁子先生

【申込】 10月24日(土) 午前9時00分
 から電話22-0511番にて受付。

特別企画 武家屋敷で抹茶を
 たしなむ憩いの日

【日時】 平成21年11月22日(日)

【場所】 武家屋敷 入交家住宅
 伊賀市上野相生町2828
 ※駐車場はございませんので、ご了承ください。

【参加料金】 1人300円
 (抹茶・和菓子・入館料含む)

【協力】 裏千家 淡交会 三重南支部伊賀青年部

【お申込み】 11月1日(日) 電話にて受付開始

★「茶道体験コース」「味わいコース」どちらかを選んで、電話22-0511番にてお申込みください。

其の壱 茶道体験コース

1回目 9時30分~ 4回目 13時30分~
 2回目 10時30分~ 5回目 14時30分~
 3回目 11時30分~ 6回目 15時30分~

其の弐 味わいコース

点てだしの抹茶と和菓子を座敷で召し上がっていただきます。お時間に余裕のない方はこちらのコースがおすすめ!
 子どもから大人まで、気軽にお申込ください。

上野歴史民俗資料館特別企画展
恐竜と伊賀の化石2009!

伊賀の大型スッポンの化石や、モササウルスの全身骨格模型も展示しています。
 11月7日にはお楽しみイベント「恐竜クイズ王決定戦&化石レプリカ作りに挑戦!」も開催します。お楽しみに!

【展示期間】 12月25日(金)まで

【開館時間】 9:00~16:30

【開催場所】 上野歴史民俗資料館
 伊賀市上野丸之内116-2

【入館料】 大人200円、高・大学生150円、小・中学生100円

恐竜クイズ王決定戦&化石レプリカ作りに挑戦! **参加者募集**

【開催日時】 11月7日(土)
 9:30~12:00

【内容】 ・化石レプリカ作り 商品ゲット!
 ・恐竜クイズ王決定! O×クイズ大会!

【参加料】 一人200円
 (材料代、入館料含む)

【定員】 40名(定員になり次第締め切り)

【申込受付】 10月31日(土) 午前9時より
 電話22-0511番にて受付

お問合せ：(財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ぶんと通信

参加者募集 ママとベビーの3B体操 第5期

【対象者】 生後3カ月から1才6カ月までの赤ちゃんとお母さん
【日時】 毎週火曜日・8回講座
 平成22年2月9日(火)～3月30日(火)
 ☆10:00～10:50「あんだよクラス」…よちよち歩き
 ☆11:00～11:50「ねんねクラス」…3カ月から歩くまで
【定員】 各15組限定 ※先着順とし定員になり次第締切。
【場所】 ゆめドームうえの 軽運動室
【料金】 4,000円

【申込方法】 11月4日(水)午前10時より電話受付。
 ※受付初日は、電話受付のみとさせていただきます。
 ※1回のお電話にてお申込みできるのは1組様までとします。
【申込先】 ゆめドームうえの
 TEL 22-0590
【指導者】 日本3B体操協会
 公認インストラクター
 福岡 和代 先生
 岡田 真由 先生
 和田 久子 先生



小學唱歌と音楽教育のあゆみ展

～教科書にみる音楽教育のあゆみ～

【開催期間】 11月1日(日)～11月30日(月)
 9:00～16:30
 ※期間中、休館日なし
【場所】 旧小田小学校本館(伊賀市小田町141-1)
【入館料】 大人100円 大学生50円 小中高生30円
【内容】 ・明治から平成までの音楽教科書
 ・音楽のあゆみパネル ・楽器 などの展示。
【関連イベント】 昔の教室で音楽の授業を受けてみませんか?
 開催日 11月1日(日)午後1時30分～
 受付 10月18日(日)午前9時から電話22-0511で
 受付ます。定員(20名)で締切ります。



蓄音機で奏でるなつかしい響き

CDでは味わえない、蓄音機の懐かしい音色を、趣のある明治校舎でごゆっくりお楽しみください。

【開催日】 11月28日(土)
【時間】 13:30開場 14:00開演
【場所】 旧小田小学校本館
【料金】 大人100円 大学生50円 小中高生30円
【定員】 40名
【内容】 ・SPレコードで美空ひばりさんの「あの丘越えて」などの、昭和初期の懐かしい名曲鑑賞
 ・お手持ちのSPレコードの持ち込みもOK
【申込・受付】 11月8日(日)午前9時から、電話22-0511で
 受付開始。※定員になり次第締切ります。



参加者募集 タッチ・ザ・スタインウェイ

～世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか!～

■ふるさと会館いが 11月22日(日) 10:00～17:00
 ■青山ホール 12月19日(土) 10:00～17:00
演奏時間 1枠30分 ※おひとり1枠のみ
 ・申込者本人の利用。・音楽教室等の指導としての利用は不可。
参加費 500円
 ・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時間
 間で1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
 ・1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用は不可。
募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
申込方法 10月25日(日) 午前9時より電話受付
お申込・お問合せ ●ふるさと会館いが TEL 45-9125
 ●青山ホール TEL 52-1109

参加者募集 ひろ～いグラウンドでのびのびサッカーあそび!

サッカー大好きなキミも、はじめてサッカーをするキミもみんなで楽しくサッカーあそびをしましょう! 伊賀FCノ一選手のお姉さんたちも来てくれるよ。

【日時】 11月21日(土)
 受付9:30～ 開始10:00～11:30
【場所】 青山グラウンド(伊賀市奥鹿野1988-1)
【対象】 年長さん～小学校3年生まで
 (参加されるお子様の保護者の方もご参加いただけます)
【定員】 50名 ※先着順とし、定員になり次第締切ります。
【参加費】 1人200円(傷害保険料含む)
【持ち物】 飲み物、タオル
【申込方法】 11月1日(日) 午前9時から、電話22-0511にて
 受付。



楽しいなにか? 便利ななにか?

嬉しいなにか? ここから生まれるよ

ぶんと「伊賀のたまご」



「伊賀のたまご」は当協会が運営する「ゆめテクノ伊賀」で活躍する大学の研究者及び新しい事業の創造に取り組む入居企業の紹介コーナーです。

弊社(日本ソフトウェアサービス株式会社)は昭和56年創業以来、京都に本社を置き、業務にあたって来ました。この度4月より業務展開の一環として「ゆめテクノ伊賀」のインキュベーションルームに入居しています。

弊社はシステム開発を業務としています。特に、工場の機械、生産ライン、発電施設などを監視、制御を行うシステム開発を主体として行っています。また、データベースの構築、運用の手助けを行っています。

近年多くの電気製品にはコンピュータシステムが組み込まれており、ゆめテクノでは、これまでの技術を活用し弊社独自の組み込み装

置用の商品及びプログラム開発を行っていきます。具体的には、遠隔地での機械装置の監視、制御を実現する為のネットワーク経由データ出力装置の開発に取り組んでいます。そしてこの商品を応用したシステム、特に携帯電話を利用した装置監視、制御システムの構築を行います。

また、伊賀市が進めている「菜の花プロジェクト」に参加し、BDF製造業務委託を受けております。ゆめテクノ横に建設された市のBDF製造施設の管理、BDFの精製、管理を受託しております。

このBDF製造装置には弊社がゆめテクノで開発した技術を応用し、BDF製造の高度化を目指します。

詳しくは弊社HPをご覧ください。

<http://www.jssrv.co.jp/>



お問合せ：(財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ホール・ドーム ぶんと通信 情報

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 第2回 輝けが! 愛あいチャリティー and 市民文化祭協賛事業 第46回公演.

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 30周年青山歌謡愛好会発表会 and タッチ・ザ・スタインウェイ.

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 場所, 主催・問い合わせ. Includes events like 第38回伊賀総合ソフトバレーボール大会 and 伊賀総合バレーボール選手権大会.

お問い合わせ (財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512. Includes website information for the association.

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 児童アニメ映画会 and 伊賀コミュニティオーケストラ.

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

Table with 4 columns: 日時, 催し物, 場所, 入場料, 主催・問い合わせ. Includes events like 児童アニメ映画会 and ULTRA SOUL.

編集部だより

早いものでもう10月ですね。だんじり町では、天神祭りのお囃子の練習にも熱が入っていることでしょうか。お年寄りから子どもまでが集まり練習をしています。最近、だんじりの乗り手が足りないという声も聞きます。当然、伝統を守っていくことは大切ですが、新しい風を入れていくことも必要でしょう。この2つをどう折り合いをつけるかが非常に難問であります。今年の天神祭りは、土曜、日曜とあります。さて、伊賀の文化を生で体験しに行きましようか。(広報事業委員 奥真也)

芭蕉忌の街が賑わう俳句熱. 夫婦して初めての旅伊賀しぐれ. 伊賀盆地とどこまでも江戸の町. Includes a list of names and a small image of a book cover.

ぶんと通信